

【令和7年度分 様式3】

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（61） 学校名 豊田市立冷田小学校

- 1 テーマ 「ふるさと冷田の昔と今を見つめ、未来を考える」
～冷田の「人、もの、こと」を生かした山里の学校づくり～
- 2 ねらい
 - 地域の「人・もの・こと」を生かし繰り返しかわることにより、学習に意欲的に取り組む子どもを育てるとともに地域への思いや願いを高め、地域のよさを知り、地域を愛する子どもを育てる。
 - 学校の自然環境や学習環境の整備を行うことで、子どもたちの学校生活の充実を図る。
- 3 活動内容
 - ・1・2年生—地域講師の方に教わりながら野菜を育て、成長や収穫の喜びを味わった。
 - ・3～5年生—地域講師から米作りの手ほどきを受け、苗植え、草刈り、稲刈りと経験し、米作りの楽しさや大変さを感じた。
 - ・5年生—米作り体験や農業の携わる方の話から、農業のあり方について考えた。
 - ・6年生—地域の人々とかわる中で、ふるさとをさらに活性化する方法について考えた。
- 4 成果と課題
 - (1) 成果
 - ・地域講師の方や自然と関わりながら学習をすることで、自分が住む地域や人を深く知り、生き生きと活動することができた。
 - ・保護者アンケート（回答26世帯）からは、「特色ある学校づくり」によって子どもが生き生きと活動しているかの問いに対して、【とてもよい：16】【よい：9】と評価され、昨年度と同様に高い割合の理解を得ている。
 - ・子どもたちの思いや課題、動機を大切に、冷田の地域の人、もの、ことを生かした活動が展開できた。
 - (2) 課題
地域の農業等にかかわる方は高齢化している。将来の講師の人材確保等も視野に入れながら、今後も子どもたちが生き生きと活動できるような冷田小学校ならではの活動を模索していく必要がある。
 - (3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果
校内整備員に草刈りを依頼し、自然観察や野菜栽培等において安全に活動できた。
- 5 保護者・地域への情報発信の取組実績
 - ・HPでは、活動を実施するごとにリアルタイムで発信した。学校だよりは月1回、学年だよりは週1回程度発行し、その都度、活動について紹介してきた。
 - ・地域のコミュニティ会議において特色ある学校づくり推進事業に関わる活動を紹介した。
 - ・2月の「わくわくどきどき発表会（旧学芸・学習発表会）」では、保護者や地域の方にも参観していただき、特色ある学校づくり推進事業の取組に関する発表を行った。